

ヘッジファンドSMTBセレクション (SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

交付運用報告書

第7期(決算日 2023年7月10日)
(作成対象期間 2022年7月12日～2023年7月10日)

当期末

基準価額	9,493円
純資産総額	150,483百万円
騰落率	△0.7%
分配金合計	0円

(注1) 以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

SMTAM投信関連情報サービス



お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断をお願いします。

※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。当ファンドは、主として、絶対収益を追求する複数のヘッジファンドに分散投資することで、絶対収益の獲得を目指して運用を行いました。ここに期間中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

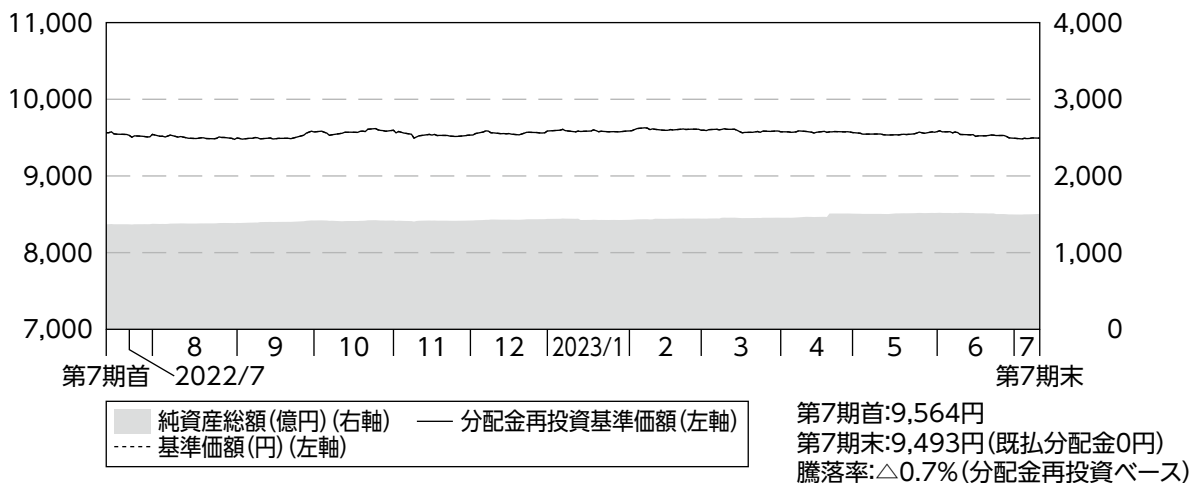
〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記ホームページにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2022年7月11日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

運用経過の説明

2 基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象ファンドの騰落率は以下の通りです。

組入ファンド	当作成対象 期間末組入比率	騰落率
ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド	10.8%	△1.4%
MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド	5.9%	△4.0%
米国株式LSマザーファンド	10.8%	3.5%
コモディティLSアルファ・マザーファンド	9.8%	9.5%
米国株式イントラデイ・トレンド戦略マザーファンド	4.0%	6.7%
GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)	6.2%	2.7%
マルチ・ストラテジー・ファンド(適格機関投資家専用)	4.6%	0.1%
ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	11.5%	△6.5%
ウエスタン・カレンシー・アルファ・ファンドS(適格機関投資家専用)	9.4%	△8.2%
BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund – クラスS-JPY	9.6%	1.6%
MA Hedge Fund Strategies Limited	9.4%	△3.6%
MANAGED FUND / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR	5.8%	1.6%

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 期中に組み入れたファンドの騰落率は当ファンドへの組入日からのものです。

運用経過の説明

3 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2022年7月12日~2023年7月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	31円	0.329%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は9,560円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(17)	(0.176)	
(販売会社)	(12)	(0.121)	
(受託会社)	(3)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(商品)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.014	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
(保管費用)	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	32	0.344	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

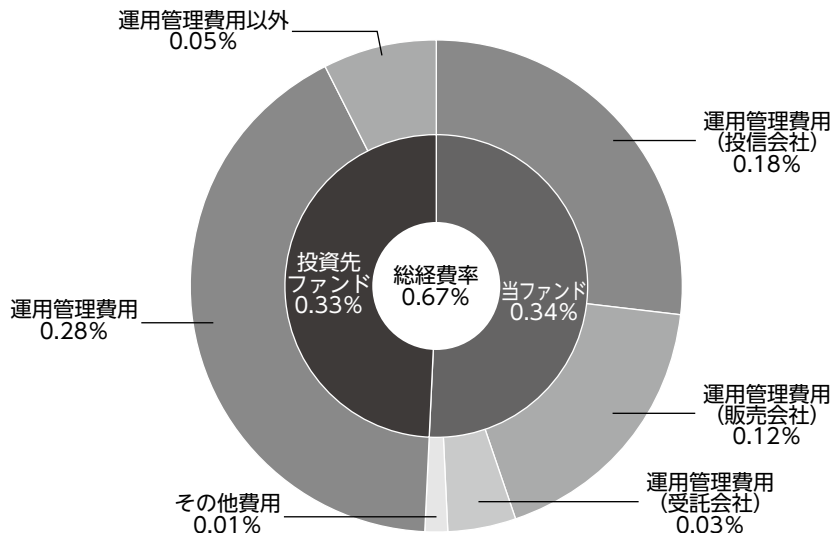
(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

運用経過の説明

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.67%です。



総経費率(①+②+③)	0.67%
①当ファンドの費用の比率	0.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.28%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1)当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

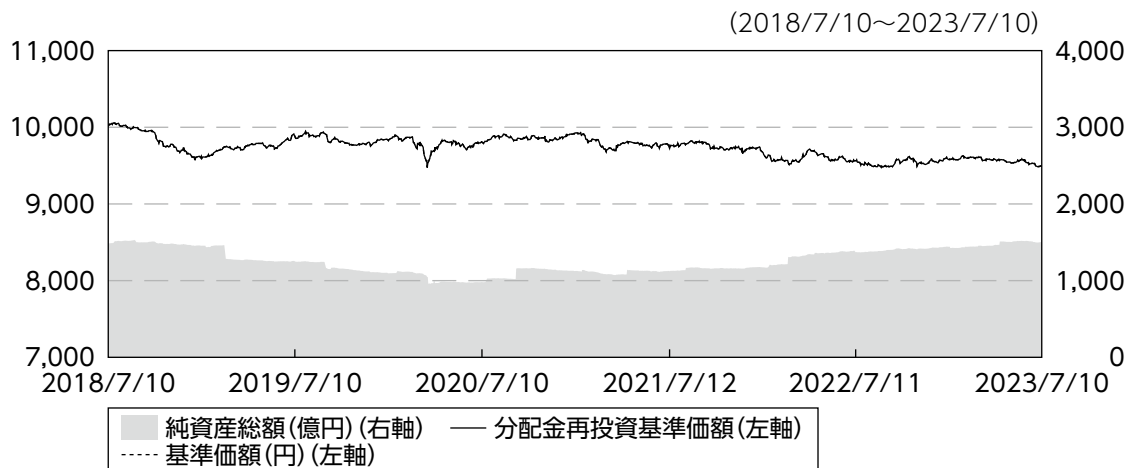
(注6)当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)投資先ファンドの費用は投資先運用会社等から提供された入手可能なデータや情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。

(注8)投資先ファンドの運用管理費用の比率は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値を使用している場合があります。

(注9)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもとして計算しております。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2018年7月10日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2018年7月10日 決算日	2019年7月10日 決算日	2020年7月10日 決算日	2021年7月12日 決算日	2022年7月11日 決算日	2023年7月10日 決算日
基準価額 (円)	10,015	9,885	9,808	9,725	9,564	9,493
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△1.3	△0.8	△0.8	△1.7	△0.7
純資産総額 (百万円)	148,281	125,242	98,098	112,236	136,989	150,483

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

5 投資環境

○国内株式市場

当期の国内株式市場は上昇しました。期前半は、米国の金融引き締めペースの加速が懸念される一方で、円安・米ドル高の進行を受けて、一進一退の展開となりました。その後は、日銀の金融政策修正の動きを受けて下落したものの、植田日銀新総裁が金融緩和継続の方針を示したことや、国内主要企業の好決算を受けて、上昇しました。

○国内債券市場

当期の国内債券市場は下落しました。期前半は、日銀の長期金利の変動許容幅の引き上げにより国内債券の利回りが上昇（価格は下落）しました。期後半は、植田日銀新総裁がハト派的な方針を示し、大規模な金融緩和策を早期に修正するとの見方が後退したことから、利回りが安定的に推移しました。

○先進国株式市場

当期の外国株式市場は上昇しました。金融引き締めによる景気後退リスクや欧米金融機関に対する信用不安を警戒する局面もありましたが、先進国の物価指標の鈍化を背景に世界的な利上げサイクルが終盤に近いとの見方が強まったことや、米国のハイテク企業の好決算を受けて上昇しました。米ドルを中心に、投資対象通貨が上昇したこともプラスに寄与しました。

○先進国債券市場

当期の外国債券市場は世界的なインフレ加速を背景とした利上げが続き、主要国の利回りが上昇したことから、外国債券は軟調となりましたが、投資通貨が円に対して上昇したことから、外国債券は円ベースでは上昇しました。

○新興国株式市場

当期の新興国株式市場は欧米の金融引き締め長期化による世界的な景気減速が懸念されたことや、偵察用とみられる中国の気球が米国で撃墜され、米中対立の激化が生じたことなどから、軟調となりましたが、投資対象通貨が円に対して上昇したことから、新興国株式は円ベースでは上昇しました。

5 投資環境

○新興国債券市場

当期の新興国債券市場は上昇しました。新興国の債券価格は、政策金利の据え置きが続くブラジルなど、多くの国で上昇しました。投資対象通貨も、中央銀行が高金利の維持を表明したメキシコ・ペソを中心に、総じて円に対して上昇しました。

○外国為替市場

外国為替市場では、米ドル／円相場は円安・米ドル高となりました。期初は、日米長期金利差の拡大や日銀とFRB（米連邦準備理事会）の金融政策姿勢の違いを背景に円安・米ドル高が進行しました。その後は、9月後半に政府・日銀が円買い介入を実施したことや、11月に米国のCPI（消費者物価指数）の伸び率鈍化を受けて米長期金利が低下に転じたこと、12月に日銀の長期金利変動許容幅を引き上げたことなどから、円高・米ドル安が進行しました。期後半は、日銀による金融緩和が維持される一方、米国の利上げ局面の長期化が意識され、円安・米ドル高となりました。ユーロ／円相場は、円安・ユーロ高となりました。期前半は、ECB（欧州中央銀行）が金融引き締め姿勢を強めユーロ高要因となった一方、ロシア・ウクライナ情勢のさらなる緊迫化や欧州経済の減速懸念はユーロ安要因となり、もみ合いとなりました。12月に日銀が長期金利変動許容幅を引き上げたことなどから、円高・ユーロ安が進行する局面もありましたが、期後半にかけて、日銀が金融緩和策を維持した一方、ECBが利上げ継続を示唆し、日銀とECBの金融政策姿勢の違いが意識されたことなどから、円安・ユーロ高となりました。

6 当ファンドのポートフォリオ

○当ファンド

絶対収益を追求する複数のヘッジファンドに分散投資することで、絶対収益の獲得を目指しポートフォリオの組成を行いました。

・GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)

投資割合の見直しなどに伴い新規に組み入れを行い、当期末時点における組入比率は6.2%となりました。

・MANAGED FUND / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR

投資割合の見直しなどに伴い新規に組み入れを行い、当期末時点における組入比率は5.8%となりました。

・ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド

投資割合の見直し等により、当期末時点における組入比率は10.8%となりました。

・ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)

投資割合の見直し等により、当期末時点における組入比率は11.5%となりました。

・MA Hedge Fund Strategies Limited

投資割合の見直し等により、当期末時点における組入比率は9.4%となりました。

運用経過の説明

6 当ファンドのポートフォリオ

組入ファンド	当季首(前期末)	当期末	差
GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)	—	6.2%	+6.2%
MANAGED FUND / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR	—	5.8%	+5.8%
ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド	16.4%	10.8%	△5.6%
ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	17.0%	11.5%	△5.5%
MA Hedge Fund Strategies Limited	4.7%	9.4%	+4.6%
HFリターン・ターゲット・マザーファンド(為替ヘッジあり)	4.0%	—	△4.0%
コモディティLSアルファ・マザーファンド	11.5%	9.8%	△1.7%
米国株式LSマザーファンド	10.5%	10.8%	+0.3%
BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY	9.3%	9.6%	+0.3%
MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド	6.1%	5.9%	△0.2%
米国株式イントラデイ・トレンド戦略マザーファンド	4.2%	4.0%	△0.1%
マルチ・ストラテジー・ファンド(適格機関投資家専用)	4.6%	4.6%	+0.0%
ウエスタン・カレンシー・アルファ・ファンドS(適格機関投資家専用)	9.4%	9.4%	△0.0%

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

運用経過の説明

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

8 分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第7期	
	2022年7月12日~2023年7月10日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	(—)
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	0

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

主として、絶対収益を追求する複数のヘッジファンドに分散投資することで、絶対収益の獲得を目指します。

各投資対象ファンドへの投資割合は、各投資対象ファンドのリターン・リスク特性及び相関係数等を基に決定します。各投資対象ファンドへの投資割合は定期的な見直しを行うほか、市場環境等に依りても変更を行います。また適宜リバランスを行います。なお、全ての投資対象ファンドに投資するとは限りません。

投資対象ファンドについては、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。この際、投資対象ファンドとして定められていた投資信託証券が投資対象ファンドから除外されること、もしくは新たな投資信託証券が投資対象ファンドとして定められることがあります。

お知らせ

投資対象とする投資信託証券を追加するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

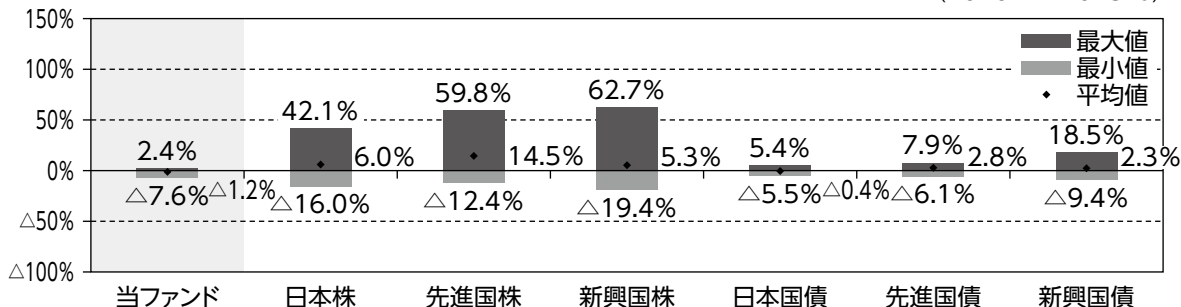
(変更日:2023年4月12日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)
信託期間	信託期間は2017年1月31日から2026年7月10日までです。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	以下の投資信託証券(以下「投資対象ファンド」といいます。)を主要投資対象とします。 ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド 米国株式LSマザーファンド コモディティLSアルファ・マザーファンド 米国株式イントラデイ・トレンド戦略マザーファンド HFリターン・ターゲット・マザーファンド(為替ヘッジあり) GBCAマザーファンド(ミドルリスク型) マルチ・ストラテジー・ファンド(適格機関投資家専用) ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用) ウエスタン・カレンシー・アルファ・ファンドS(適格機関投資家専用) BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund – クラスS-JPY MA Hedge Fund Strategies Limited MANAGED FUND / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR マネープールマザーファンド
運用方法	主として、絶対収益を追求する複数のヘッジファンドに分散投資することで、絶対収益の獲得を目指します。各投資対象ファンドへの投資割合は、各投資対象ファンドのリターン・リスク特性及び相関係数等を基に決定します。各投資対象ファンドへの投資割合は定期的な見直しを行うほか、市場環境等に応じて変更を行います。また適宜リバランスを行います。なお、全ての投資対象ファンドに投資するとは限りません。投資対象ファンドについては、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。この際、投資対象ファンドとして定められていた投資信託証券が投資対象ファンドから除外されること、もしくは新たな投資信託証券が投資対象ファンドとして定められることがあります。
分配方針	原則として毎年7月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益の分配を行います。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018/7~2023/6)



(注1) 2018年7月~2023年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・ TOPIX(東証株価指数)(配当込み)*1

先進国株・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)*2

新興国株・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)*3

日本国債・・・ NOMURA-BPI国債*4

先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)*5

新興国債・・・ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)*6

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数の指数値及び同指数に係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

*2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*4 NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスに計算されます。同指数の知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

*5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

*6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

当ファンドのデータ

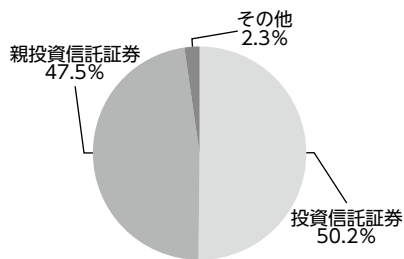
1 当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

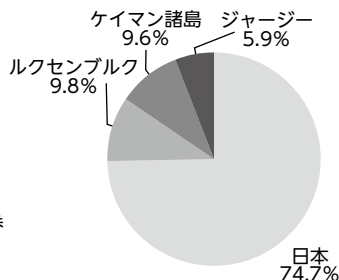
順位	ファンド名	当期末
		2023年7月10日
1	ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	11.5%
2	ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド	10.8%
3	米国株式LSマザーファンド	10.8%
4	コモディティLSアルファ・マザーファンド	9.8%
5	BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY	9.6%
6	MA Hedge Fund Strategies Limited	9.4%
7	ウエスタン・カレンシー・アルファ・ファンドS(適格機関投資家専用)	9.4%
8	GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)	6.2%
9	MAN AHL ダイバーシファイドリンク マザーファンド	5.9%
10	MANAGED FUND / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR	5.8%
組入ファンド数		12

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

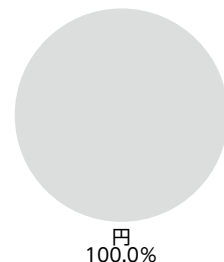
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
 その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

2 純資産等

項目	第7期末
	2023年7月10日
純資産総額	150,483,042,292円
受益権総口数	158,512,962,148口
1万口当たり基準価額	9,493円

※当期間中における追加設定元本額は33,262,439,146円、同解約元本額は17,982,372,846円です。

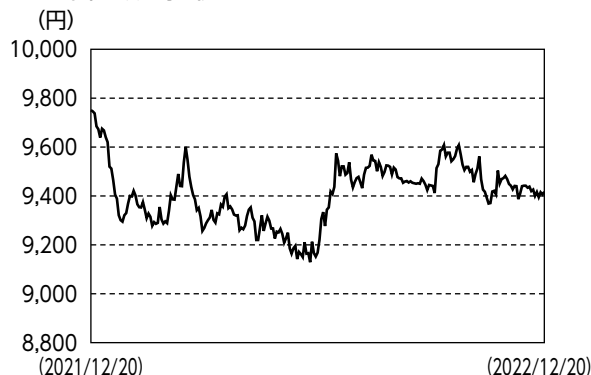
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)

○基準価額の推移



○ロング上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	野村日本株最小分散ポートフォリオ マザーファンド	日本	41.5%
2	日本成長株投資マザーファンド	日本	40.7%
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		2	

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

○1万口当たりの費用明細

(2021年12月21日~2022年12月20日)

項目	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	48円 (44) (1) (3)
(b) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	8 (6) (2)
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)
合計	56

○ショート上位10銘柄

順位	銘柄名	業種/種別等	国・地域	組入比率
1	TOPIX 2303	株式先物(売建)	日本	85.4%
2	—	—	—	—
3	—	—	—	—
4	—	—	—	—
5	—	—	—	—
6	—	—	—	—
7	—	—	—	—
8	—	—	—	—
9	—	—	—	—
10	—	—	—	—
組入銘柄数		1		

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) ロング上位10銘柄、ショート上位10銘柄のデータは2022年12月20日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

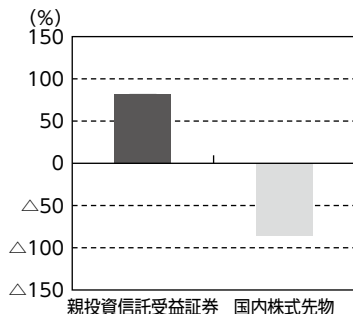
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

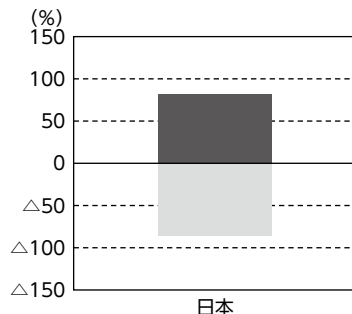
現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)

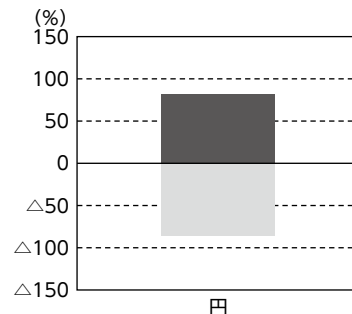
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年12月20日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

当ファンドのデータ

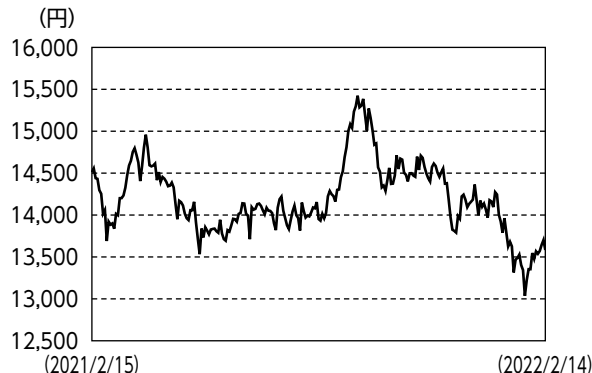
3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

— <ご参考>野村日本株最小分散ポートフォリオ マザーファンド —

※当ファンドが直接投資しているのはノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)ですが、その先の投資資産を表示しております。

○基準価額の推移



○上位10銘柄

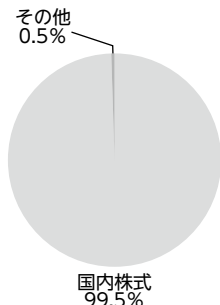
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	トヨタ自動車	日本	4.5%
2	日本電信電話	日本	2.3%
3	HOYA	日本	2.1%
4	オリエンタルランド	日本	2.0%
5	伊藤忠商事	日本	2.0%
6	KDDI	日本	2.0%

○1万口当たりの費用明細

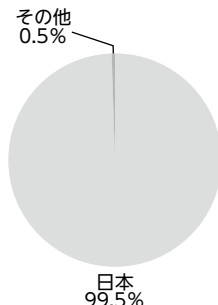
(2021年2月16日~2022年2月14日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (株式)	0円 (0)
合計	0

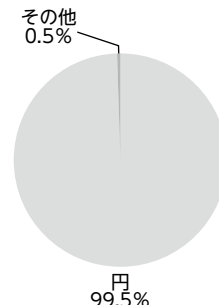
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	三井物産	日本	1.9%
8	ソフトバンク	日本	1.8%
9	セブン&アイ・ホールディングス	日本	1.8%
10	キャノン	日本	1.5%
組入銘柄数			113

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年2月14日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

— <ご参考>日本成長株投資マザーファンド —

※当ファンドが直接投資しているのはノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)ですが、その先の投資資産を表示しております。

○基準価額の推移



○上位10銘柄

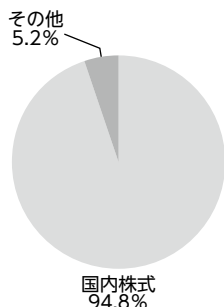
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	信越化学工業	日本	4.5%
2	キーエンス	日本	4.2%
3	中外製薬	日本	3.9%
4	エムスリー	日本	3.8%
5	ユニ・チャーム	日本	3.7%
6	ファーストリテイリング	日本	3.6%

○1万口当たりの費用明細

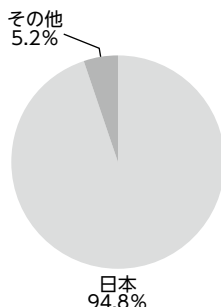
(2021年12月21日~2022年12月20日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (株式)	19円 (19)
合計	19

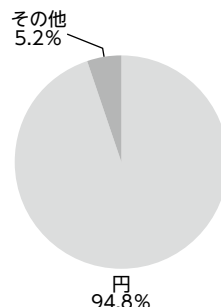
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	ダイキン工業	日本	3.5%
8	GMOペイメントゲートウェイ	日本	3.1%
9	日本電信電話	日本	2.7%
10	SMC	日本	2.5%
組入銘柄数			64

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年12月20日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

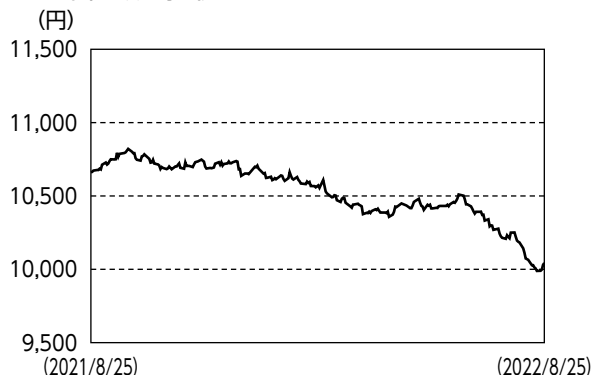
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド

○基準価額の推移



○上位10銘柄

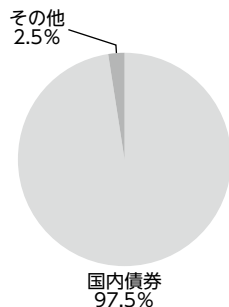
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	SIGNUM GENEVA I 0% 12/15/25	ケイマン諸島	97.5%
2	—	—	—
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—

○1万口当たりの費用明細

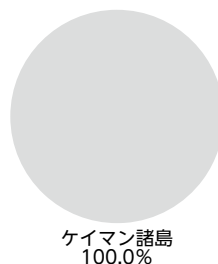
(2021年8月26日~2022年8月25日)

項目	
(a) その他費用 (保管費用)	3円 (3)
合計	3

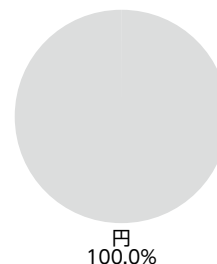
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		1	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年8月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

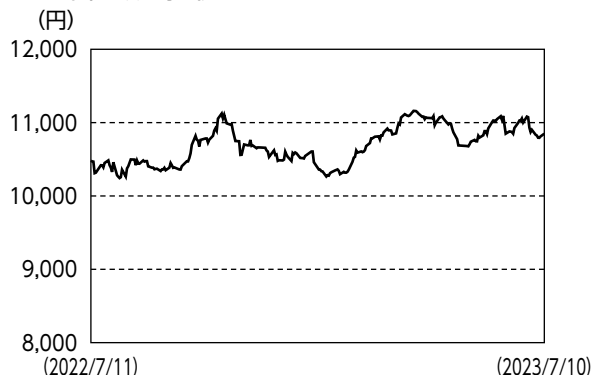
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

米国株式LSマザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年7月12日~2023年7月10日)

項目	
(a) その他費用 (保管費用)	3円 (3)
合計	3

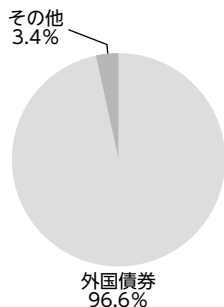
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	STAR HELIOS 004 10/18/27	アイルランド	96.6%
2	_____	—	—
3	_____	—	—
4	_____	—	—
5	_____	—	—
6	_____	—	—

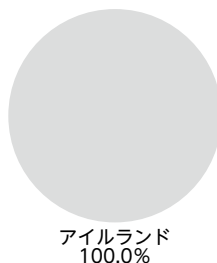
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	_____	—	—
8	_____	—	—
9	_____	—	—
10	_____	—	—
組入銘柄数			1

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

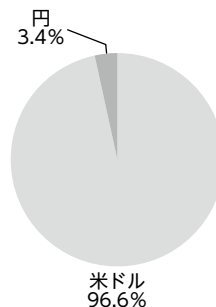
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年7月10日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

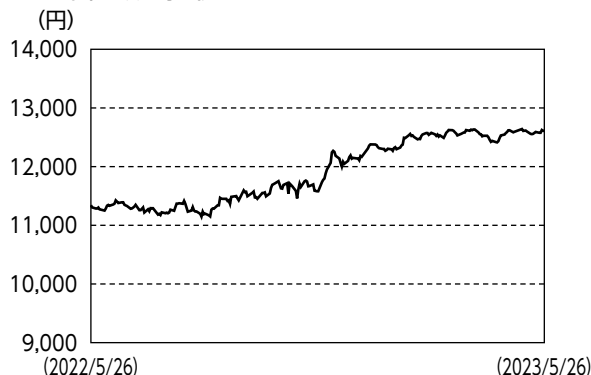
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

コモディティLSアルファ・マザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年5月27日~2023年5月26日)

項目	
(a) その他費用 (保管費用)	3円 (3)
合計	3

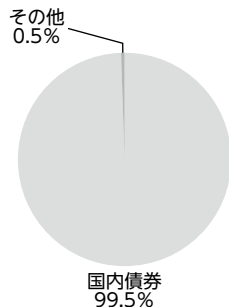
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	STAR HELIOS 0% 07/13/23	アイルランド	97.9%
2	ソエテ・ジェネラル 0% 2023/06/30	イギリス	1.6%
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—

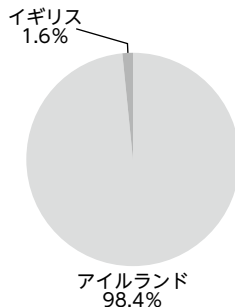
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数			2

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

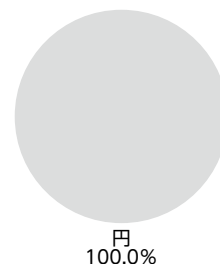
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月26日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

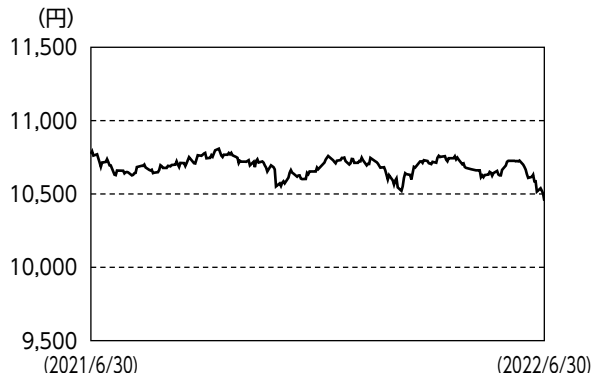
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund – クラスS-JPY

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

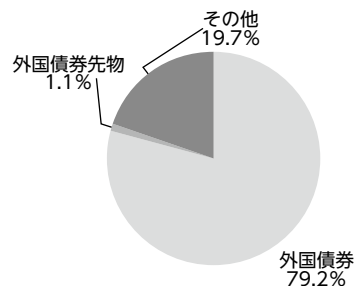
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	DBR 0 08/30 REGS	ドイツ	8.4%
2	SAGB 8 1/2 01/31/37 #2037	南アフリカ	5.0%
3	DBR 0 08/31 REGS	ドイツ	3.8%
4	GS 0.01 04/24 REGS	米国	2.4%
5	MEX 4 03/15/2115	メキシコ	2.1%
6	V 1 1/2 06/15/26	米国	1.9%

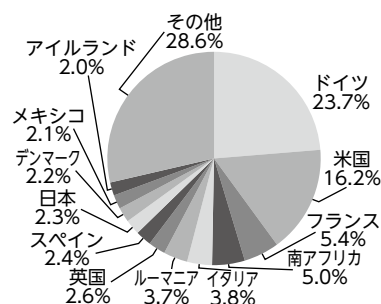
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	ILDFP 0 3/4 02/24 REGS	フランス	1.7%
8	COLOBD FLOAT 05/24 REGS	デンマーク	1.4%
9	ICEGB 4 1/2 02/17/42	アイスランド	1.4%
10	UCGIM 7 1/2 06/26 PERP REGS	イタリア	1.2%
組入銘柄数			137

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

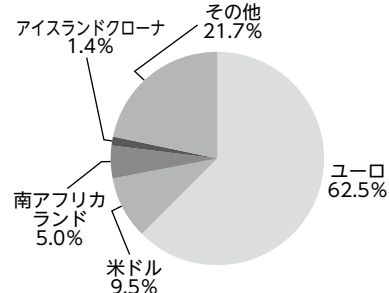
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年6月30日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は外国債券の現物債のみのポジションでの純資産総額に対する評価額の割合です。

※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは実質投資先であるBlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund 全体の内容を記載しています。

※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。